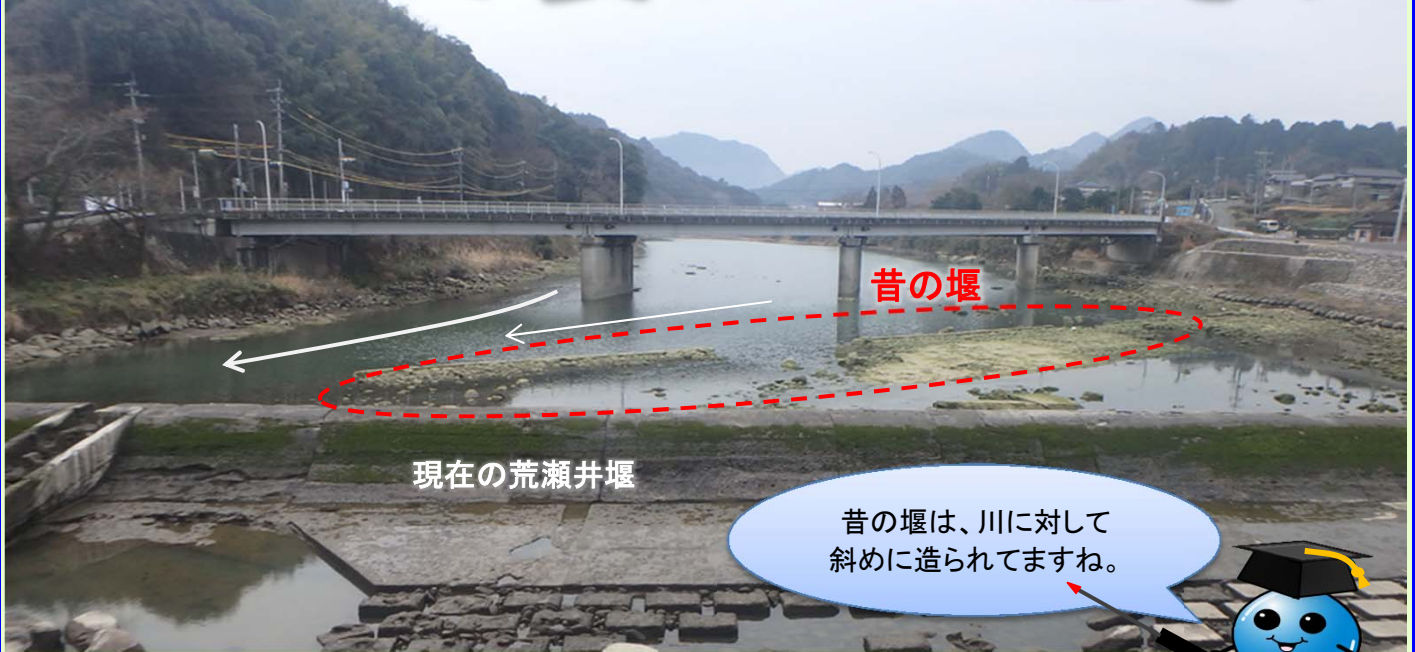


昔の堰が姿を現したぞ！



昔の堰は、川に対して斜めに造られていますね。



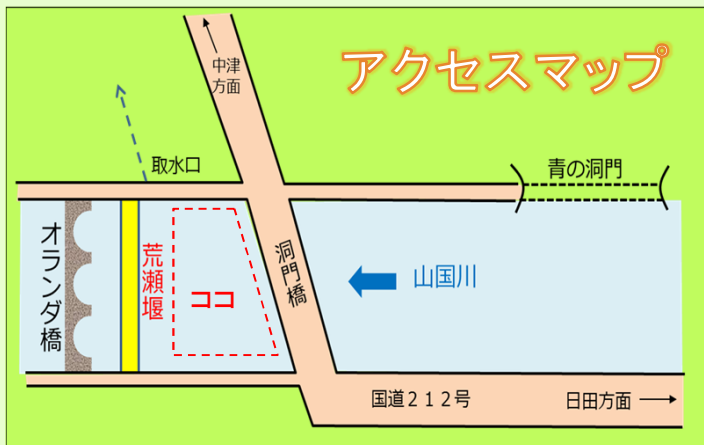
現在、河川工事のために、オランダ橋（中津市本耶馬溪町樋田）の上流にある「荒瀬井堰」のゲートを開けていただき、川の水位を下げてもらっています。

この水位が下がったことによって、現在の荒瀬井堰のすぐ上流側に、昔の堰が姿を現しています。

昔の堰は、水を取水口に導くために、川に対して斜めに堰が造られていることがよく分かります。

普段は、堰のゲートは閉められているため、水位がここまで下がることはなく、めったに見ることの出来ない光景となっています。

この光景は、5月初旬まで見ることができます。



荒瀬井堰（県指定史跡）

荒瀬井堰は、本耶馬溪町樋田で山国川から取水し、下毛原（しもげばる）の丘陵地への灌漑（かんがい）を目的に設けられた堰です。

貞享3年（1686年）10月から工事に着手し、3年の歳月と莫大な費用をかけ完成しました。

また、荒瀬井堰から続く水路の工事も大変な難工事で、一番の難関は、山国川沿いの岩山を削って造られた川平間歩（かわべらまぶ）（約1キロメートル）であり、当時のノミの彫り跡が残っています。

「インフラカード」って知ってますか？

みなさん「インフラカード」ってご存じですか？ 「ダムカード」は、聞いたことあるという方は多いと思います。

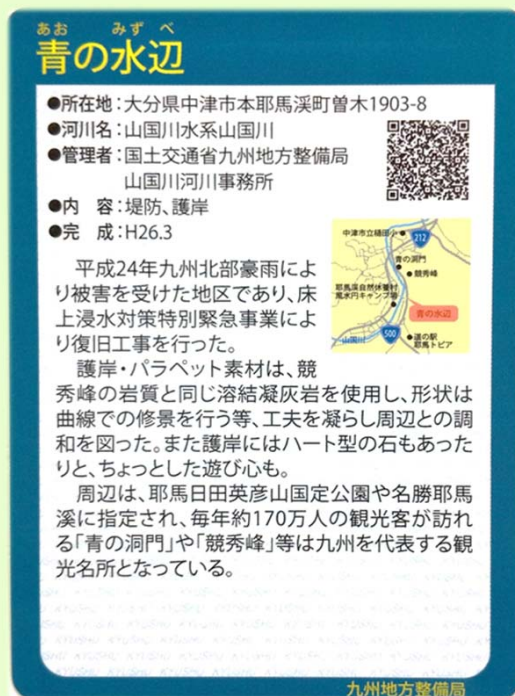
実は、昨年7月より、九州内のインフラの紹介およびインフラ観光、地域活性化の一助として、「九州インフラカード」が作られ配布されています。

国土交通省九州地方整備局で整備・管理している施設の中から、「河川」「道路」「港湾」「公園」「営繕」の全65施設のインフラカードを配布しています。

山国川では、「青の水辺」として、青の洞門・競秀峰付近の河川整備状況をインフラカードとして作成しています。



おもて面



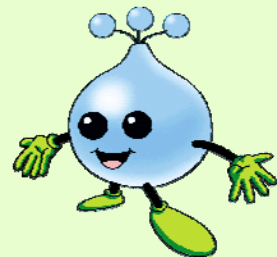
うら面

九州インフラカードは
全65種類！
山国川は「青の水辺」！



カードは、配布施設への来訪者のみに1人1枚配布するルールとなっています。
山国川の「青の水辺」のカードは、山国川河川事務所および中津出張所で平日の9時～17時の時間帯で配布しています。（郵送対応はしていません。）
この機会に、九州各地のインフラカードを集めてみてはいかがでしょうか。

「九州インフラカード」についての詳細は、
右のQRコードか下記のURLを参照ください。
<http://www.qsr.mlit.go.jp/chiiki/infracard.html>



山国川に関するご意見・ご相談は

〒871-0059
大分県中津市外馬場2599-24
国土交通省
山国川河川事務所 中津出張所
TEL0979-22-0103
FAX0979-22-0104
山国川河川事務所HP：
<http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/>

